

青少年人口		
男	9,741 人 (－ 23)	
女	9,393 人 (－ 29)	
計	19,134 人 (－ 52)	
令和4年3月1日現在		
() 内は、前年度比		
※ 6歳～24歳人口の合計		

あきしまの青少年

NO.266
2022
3 / 18

編集・発行/昭島市青少年問題協議会事務局（昭島市子ども家庭部子ども育成課内）〒196-0012 昭島市つつじが丘3-3-15 ☎042(544)4313

おもな内容

- 1面 青少年の善行を表彰・健全育成協力者に感謝状贈呈/校長随想
- 2面 小学生手作りたこ展示/青少年とともにあゆむ小学校地区委員会「ウィズユース」紹介/
4月はあいさつ運動推進強調月間
- 3面 地区委員 活動報告/第68回昭島市成人式/青少年フェスティバル実行委員募集/放課後子ども教室登録を受付ています
- 4面 中学生による作文/ちょこっと一息 昭島散歩！/「あきしまの青少年」合併のお知らせ

青少年の善行を表彰・健全育成協力者に感謝状贈呈

令和3年度の昭島市青少年善行表彰式と青少年健全育成協力者への感謝状贈呈式は2月27日（日）に市役所市民ホールで開催予定でしたがコロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたので、表彰式、贈呈式の受賞者の方々の内容をお知らせします。

青少年善行表彰

青少年善行表彰は、善い行いをした青少年を励ますことにより、一層の活躍を期待し、より良い地域社会をつくることを目的に行っています。お名前と表彰内容は次のとおりです。

《敬省略》

◆青少年の指導に関すること

- ◇町田 莉渚 (宮沢町)
- ◇宮崎 泰輔 (昭和町)
- ◇横山 愛緒里 (昭和町)
- ◇峰松 莉夢 (朝日町)
- ◇関口 優菜 (朝日町)
- ◇小塚 由唯 (松原町)
- ◇高橋 真琴 (美堀町)

◆環境美化に関すること

- ◇未来守 環境チーム (福島町)

◆その他特に善行と認められること

- ◇高水 祐成 (東町)
- ・お年寄りが体調不良により踏切を渡れずにいたところ、肩を貸して安全に渡るお手伝いをされました。

- ◇石井 優獅 (つつじが丘)

- ・コロナ禍で経済的に困窮している世帯に、お弁当や食品の調理・配布をされました。

- ◇未来守 無料塾チーム

(東町)

- ・子どもの学習の機会と居場所を兼ねて学習サロンを提供されました。

- ◇檜本 明秀 (朝日町)

- ◇春日 ひなの (緑町)

- ◇川原 佳穂 (拝島町)

- ◇清水 飛鳥 (つつじが丘)

- ◇菊田 龍平 (中神町)

- ◇石森 大地 (福島町)

- ◇田中 克依 (武蔵野)

- ・七名の方は成人式実行委員として活躍されました。

青少年健全育成協力者

青少年の健全育成活動を長年にわたり、積極的に行っている次の方々に青少年健全育成協力者感謝状を贈りました。

《敬省略》

- ・青少年とともにあゆむ富士見丘小地区委員会

- ◇棚田 昭一 (玉川町)

- ◇本田 伸児 (福生市熊川)

- ・青少年とともにあゆむ武蔵野小地区委員会

- ◇内藤 徳明 (中神町)

- ・青少年とともにあゆむ中神小地区委員会

- ◇人見 隆一郎 (中神町)

- ・青少年とともにあゆむ拝島第一小地区委員会

- ◇長田 絵里 (拝島町)

- ・昭島市スカウト育成連絡協議会

- ◇石井 琢磨 (美堀町)

- ◇千葉 智史(あきる野市油平)

校長随想

地域の子ども・学校として

中神小学校

校長

松井 茂



本校は、昭和三十九年に玉川小学校の分校として、翌年には、中神小学校として開校しました。これまで六千四百二十名の卒業生を送り出し、多くの保護者、中神小地区委員会、各自治会の皆様方が関わってきてくださいました。

教育基本法には、学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする定められています。

学校では、一人一人の資質・能力を伸ばし、生きる力を育むことなど教職員が一丸となつて取り組んでいます。この学びを進める中で、地域学習や伝統文化を学ぶ活動があり、地域の方に教えていただく機会を取り入れてきました。また、校外

においては、地区委員会や各自治会等で行われる地域行事やこれまで大切に守り継がれてきた伝統行事があり、これらのことを通して多くの子どもたちが大切に育まれてきました。まさに、地域の学校として、地

域の子どもである中神小の子どもたちの教育を進めてきていただいています。

しかし、新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大により、様々な行事などが中止となりました。これまで当たり前のように行われていたことができなくなり、子どもたちと地域の方と関わる機会が殆どなくなりました。それでも、感染対策を学校・家庭と協力しながら取り組んできました。子どもの安全を第一としながら教育活動をするべく止めないため、ICT等の活用で新たな取組を考えたり、実施内容や方法を工夫したりしながら、地域との繋がりを模索しています。

今後も、コロナだから止まるのではなく、知恵を出し合い新たな関わりを考えていきたいと思っています。子どもたちの健全な育成を目指して、関係機関が連携し昭島市の青少年健全育成が、更なる充実したものとなることと同時に、一日も早くこの新型コロナウイルス感染症が収束することを願っています。